

- 学力向上総合対策事業（山梨県学力把握調査結果から考える）
- 小中連携研究協議会について
- 外国語教育強化地域拠点事業について
- 山梨県高等学校芸術文化祭と全国高等学校総合文化祭宮城大会の報告
- 「巨摩スタイル」を授業改善の柱として／県立巨摩高等学校
- グローバル人材育成留学プログラム
- 家族で元気UP！
- 博学連携の取り組み／県立文学館
- 相談支援部における相談業務について
- 学校紹介／身延町立下山小学校・県立甲府城西高等学校
- 県立美術館特別展「ヴラマンク展 絵画と言葉で紡ぐ人生」
- 県立美術館特別展「狩野芳崖と四天王」
- 県立文学館「津島佑子展 いのちの声をさかのぼる」
- 県立博物館企画展「甲府徳川家－六代将軍家宣を生んだ知られざる名門－」
- 県立考古博物館特別展「ひつぎのヒミツ－棺から読み解く古墳時代－」
- 山梨近代人物館紹介／「日本の発展に貢献した山梨の人々」
- 山梨の文化財／徳川家康側室養珠院墓所
- かいじあむの秋まつり／県立博物館
- 学校だより紹介／丹波山村立丹波小学校・甲府市立南西中学校
- 教職員文化展について
- 「未来へ繋げるスポーツの力」講演会のお知らせ
- やまなし総合型クラブフェスタの開催について
- 山梨県一周駅伝競走大会について

Click!

※指定ページにジャンプします



作品タイトル

「くだものが 出てきたよ」

山梨市立岩手小学校

第2学年 橋爪 美琉来

山梨県教育委員会

子供たち一人一人の学力向上を目指して

～ 山梨県学力把握調査結果から考える ～

義務教育課

1 山梨県学力把握調査の結果について

(1) 調査の目的

節目の学年における児童生徒の学習の定着状況を把握するため、調査を実施し、結果の分析を通して、早い段階から学習内容の不十分な理解を解消するなど、きめ細かな指導に役立てる。また、授業における指導方法や学校、家庭、地域における学習環境の改善に資する。

本年度は、特にこれまでの改善の進捗状況を具体的に把握するために、過去調査（H23～H28）で出題された設問を基に調査問題を作成した。

(2) 調査の対象

区 分	小学校第3学年	小学校第5学年	中学校第2学年
対象教科を実施した児童生徒数	(国語) 6426人 (算数) 6424人	6657人	(国語) 6814人 (数学・英語) 6811人
対 象 教 科	国語・算数	国語・算数	国語・数学・英語
調査問題の範囲	小学校第2学年までに学習した内容	小学校第4学年までに学習した内容	中学校第1学年までに学習した内容

(3) 調査の日時

区 分	小 学 校	中 学 校
実 施 日	4月18日(火)	
調 査 教 科 (実施時間)	国語(40分)	国語(45分)
	算数(40分)	数学(45分)
	—	英語(45分)

(4) 各教科の主な結果

校種・学年・教科	平均正答数／設問数	H29 平均正答率	※比較データ	過去調査より正答率が上がった設問の数／設問数(割合)
小・3・国語	16.6／23	72.4%	71.0%	12／23(52.2%)
小・3・算数	15.7／21	74.9%	74.0%	12／21(57.1%)
小・5・国語	16.3／23	71.0%	66.8%	17／23(73.9%)
小・5・算数	17.6／23	76.7%	74.0%	18／23(78.3%)
中・2・国語	16.2／23	70.3%	68.1%	13／23(56.5%)
中・2・数学	19.0／30	63.2%	62.5%	27／30(90.0%)
中・2・英語	21.6／33	65.6%	62.6%	25／33(75.8%)

※比較データ：過去調査の平均正答率

(5) 全体的な傾向の分析・考察

- ・国語では、小学校は漢字の読みについて、中学校は言葉に関する知識について理解が深まっていると考えられるが、文法や古文の音読について課題が見られる。
- ・算数・数学では、計算の技能や図形に関する知識について理解が深まっていると考えられるが、答えの根拠や解き方を説明することに課題が見られる。
- ・英語では、慣れ親しんだ表現について理解が深まっていると考えられるが、英文を書くことに課題が見られる。

2 授業改善に向けた取組について

(1) 管理職研修会

- ・各学校の管理職は、結果を受け、学校で組織的な対応が図られるよう指導する。

(2) 結果概要説明会（6月20日、22日）

- ・本県児童生徒の学力調査における結果と課題を共有する。説明会の内容を受け、自校の調査結果と比較しながら課題を分析し、早期の授業改善につなげていく。
- ・説明会での内容を校内研究会等で還元し、結果や課題について全校で共有する。

(3) 自校の結果の分析（6月～）

○採点結果データの活用例

- ① 平均正答率、中央値、標準偏差等を県データと比較する。
- ② 正答分布グラフで散らばりをみる。
- ③ 領域別、観点別、問題形式別の傾向をみる。
- ④ 設問別の正答率、無解答率を調べる。
- ⑤ 解答類型の散らばりをみて、誤答の類型に目を向ける。

○調査資料の活用

- ・課題のあった設問の「出題のねらい」や「ワンポイントアドバイス」を見て問題の傾向を確認する。



(4) 授業改善への具体的な取組（6月～）

- ・自校の課題を明確にし、課題改善に向けた方策を立てる。
- ・授業実践では、指導と評価を繰り返し、授業改善や個に応じた指導の充実を図る「授業レベルでのPDCAサイクル」を確立する。

(5) ピックアップ問題への取組

- ・ピックアップ問題は、調査結果において課題の見られた問題を県教委がまとめたものである。（全国学力・学習状況調査の設問も含む。）
- ・各学校は、ピックアップ問題を実施し、授業改善の成果を検証する。児童生徒の解答に改善が見られないものがあれば、更なる改善策を検討し、実践する。

(6) 取組を評価する（H30年4月）

- ・次年度の調査における自校の調査結果から取組を評価する。

○平成29年度山梨県学力把握調査に関わるアンケート（9月）

- ・県教委は、調査の実施、調査問題・調査結果の活用状況について、アンケート調査を行う。

○指導主事による学校訪問

- ・指導主事は、各学校が学力調査の結果を基にしたPDCAサイクルを確立する等の「組織的な対応と取組」をしているかどうか把握し、授業観察や研究会での様子等を踏まえ、適切な指導を行う。

○平成29年度山梨県学力把握調査 ピックアップ問題実施アンケート（3月）

- ・県教委は、ピックアップ問題を実施することによって見えてきた課題や、来年度に向けての授業改善の方向性等について、アンケート調査を行う。

小中連携研究協議会

～ 学力向上、中1ギャップの解消、魅力ある学校づくりに向けて～

義務教育課

1 目的

9年間を見通し、学力向上、中1ギャップの解消等を目指した効果的な小中学校の連携の在り方や新たな指導方法等についての研究を行い、その効果を県内の市町村や学校に普及し、県内における小中連携、一貫教育の推進を図る。

2 事業予定

- ・平成29年度・・・7市町村から、14校の小中連携推校を指定し、協議会を開催する。先進校視察等を行い、研究報告書を作成する。
- ・平成30年度・・・実態に応じて、特定の教科等で義務教育9年間の系統的な教育課程を編成する。
- ・平成31年度・・・小中連携推進校において、公開研究授業等により小中連携、一貫教育を全県に普及する。



先進校の外国語活動

3 小中連携推進校

南アルプス市立八田小学校・八田中学校
山梨市立笛川小学校・笛川中学校
山中湖村立山中小学校・山中湖中学校
道志村立道志小学校・道志中学校

市川三郷町立六郷小学校・六郷中学校
富士吉田市立明見小学校・明見中学校
小菅村立小菅小学校・小菅中学校

- 平成28年4月1日に「義務教育学校」の設置を可能とする改正学校教育法施行
- 平成28年12月26日に文部科学省から「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引き」が出される
- 平成29年3月31日に新学習指導要領公示「初等中等教育の一貫した学びの充実」

小中連携研究協議会（年5回）

有識者を委員長等とし、小中連携推進校校長と、その市町村教育委員会担当者等から構成される。

成果を発信



効果的な授業方法の在り方を研究



平成28年度における義務教育学校、小中一貫型小・中学校の設置数

義務教育学校
13都道府県 22校
一貫型小学校・中学校
21府県 115件
(小学校231校
中学校115校)

	義務教育学校	一貫型小・中学校
修業年限	9年 (前後期等の分制は可能)	小学校6年、中学校3年
教育課程	9年間の系統性を確保した教育課程の編成 9年間を見通す中で、4・3・2等の区分を設けることが可能	小・中の学習指導要領を適用した上で、一貫教育の実施に必要な教育課程の特例を創設
教員免許	原則小・中両免許状を併有	各学校種に応じた免許状を保有

山梨県の外国語教育の充実と向上を目指して

～ 外国語教育強化地域拠点事業 ～

義務教育課

1 事業の概要

県の「グローバル化に対応した小中高英語教育連携推進事業」に基づき、小学校における外国語の教科化へ向けての組織的・計画的な対応として、新学習指導要領を見越した教育課程の在り方や小・中・高等学校の系統的な指導と円滑な移行について研究をしています。また、各学校段階を俯瞰した教育課程を県内5地域で開発し、その成果を全県に普及することで本県の外国語教育の充実と向上を目指すことをねらいとしています。



2 山梨県英語フォーラムについて

本事業の取組を県全体に広めるため、昨年11月に「山梨県英語フォーラム2016」を開催しました。小学校中学年（外国語活動）、高学年（外国語）、中学校、高等学校の公開授業を同一会場で行い、約300名の参加者が、外国語教育の10年間についてともに考えました。

今年度「山梨県英語フォーラム2017」を、南アルプス市の小・中・高等学校を会場に行います。中学校を核として、小学校、高等学校との連携について考える機会とします。また、小学校においては、先行実施に向けた新教材の活用についての授業を公開します。

多くの方に御参加いただき、本県外国語教育の一層の充実と向上のため、参考としていただけたらと思います。



「山梨県英語フォーラム2016」の様子 於：市川三郷町市川大門町民体育館

山梨県英語フォーラム2017

日 時：平成29年10月17日(火) 11時50分～17時00分

場 所：南アルプス市立白根飯野小学校、白根東小学校、白根巨摩中学校、山梨県立白根高等学校

内 容：①公開授業 ②分科会 ③全体会 【講演】 東京学芸大学 粕谷恭子教授

問い合わせ先：山梨県教育庁義務教育課 教育指導担当 深沢 裕也
TEL 055-223-1765 (内線8243)

第38回山梨県高等学校芸術文化祭と 第41回全国高等学校総合文化祭宮城大会の報告

山梨県高等学校文化連盟

1 第38回山梨県高等学校芸術文化祭

テーマ「芸術の個性深まるよき日かな」

山梨県高等学校文化連盟は、高校生の文化活動の健全な向上発展を図ることを目的として、1981年（昭和56年）に全国で15番目に結成され、本県の高校文化活動の発展のために寄与して参りました。2年後には40周年記念を迎えることになり、記念行事について準備を進めているところです。

今年の山梨県高等学校芸術文化祭は、38回目を迎えます。合唱、吹奏楽、演劇、マーチング・バトン、美術・工芸、書道、囲碁、将棋、茶道、放送、自然科学など26の部門で、本県高校生（特別支援学校含む）が発表や展示をおこないます。本年度のテーマは、応募総数13,441点の中から選ばれた上野原高校3年生の保坂菜緒さんの「芸術の個性深まるよき日かな」に決まりました。11月9日（木）には、記念パレードの出発式が県庁噴水広場でおこなわれ、市内を行進します。午後からはグランドステージ（総合開会式）がコラニー文化ホールで開催されます。各部門発表では、審査がおこなわれ、表彰されるほか、上位入賞校や作品は来年度長野県で開催される第42回全国高等学校総合文化祭に派遣されます。創造性と若さあふれる高校生の文化の祭典をぜひご覧いただきたいと思います。



昨年のパレード出発式

2 第41回全国高等学校総合文化祭宮城大会に311名が参加

全国高等学校総合文化祭は文化のインターハイと呼ばれ、全国から選ばれた文化部の生徒が、年に一度発表をおこなう全国大会です。今年は7月31日～8月4日まで、「集え伊達の地に創造の短冊に思いをのせて」の大会テーマのもと、宮城県において開催されました。本県からは、26校311人の生徒が吹奏楽、器楽管弦楽をはじめ、美術・工芸、新聞、文芸、弁論、囲碁などに出場し、守屋教育長も本県生徒の激励に駆けつけてくださいました。その結果、マーチング部門において甲府商業ソングリーダー部が講評者特別賞、書道部門で甲府東高校3年鈴木さや香さんが特別賞、自然科学部門（ポスター発表部門）で韮崎高校が文部科学大臣賞、将棋部門で甲府西高校3年山内敦貴君が5位、放送部門（ビデオメッセージ部門）で北杜高校が優秀賞を受賞するなど、今年も本県勢の活躍が目立ちました。総合開会式は仙台サンプラザホールで開催され、都留高校2年の福嶋美友さんが本県代表として出演したほか、甲府商業高校のソングリーダー部が、仙台市街地で開催されたパレードに出場し、笑顔と素晴らしいパフォーマンスで本県をPRしました。



第38回山梨県高等学校芸術文化祭

日 時：平成29年7月14日（金）～平成29年11月26日（日）

場 所：県内各地（詳細は山梨県高等学校文化連盟事務局にお問い合わせください。）

入場料等：無料

留意事項：写真撮影はご遠慮いただく部門があります。

問い合わせ先：TEL 055-226-8377 山梨県高等学校文化連盟事務局

関連HP <http://www.kobunren.com>

Click!

「巨摩スタイル」を授業改善の柱として

～ 授業改善推進プロジェクト二年目の今～

県立巨摩高等学校

1 「巨摩スタイル」とは

巨摩高校では、平成24年度より昨年度まで5年間にわたりSSH指定校として事業推進してきた経験から、生き生きと意欲的にものごとに取り組み、相互に意見交換する力のある生徒を育成していくため、「巨摩スタイル」を提唱し、授業改善推進の柱としています。

「巨摩スタイル」とは、生徒が主体的に、楽しく学ぶことを第一とし、対話的・協働的な活動を通して、課題発見力や探求力・コミュニケーション力を身につけていく学びのスタイル、本校型アクティブ・ラーニングのことです。

2 「巨摩スタイル」チェックシート

「巨摩スタイル」には定型や、こうでなければならぬといった縛りはありません。ホワイトボードを使ったり、付箋を使って話し合ったりすれば、それが目指す理想的なアクティブ・ラーニングだというわけでもありません。

大切にしているのは、生徒自身が疑問を持ち、深く考えようとしているか、それを促すために教師の発問が機能しているかということです。以下に示した「巨摩スタイルチェックシート」を参考に、どのような授業が「巨摩スタイル」と呼べるのか、イメージしてみてください。日々、生徒と教師が楽しみながら、それぞれの教科の特性を生かした深く学べる授業を作るべく努力しています。



授業の様子(数学)

「巨摩スタイル」チェックシート

- 授業の目的・目標を明示しているか。
- 授業のプロセスを示しているか。
- 気づきを促す発問がなされているか。
- 学習項目を総合化するような発問がなされているか。
- 生徒の発言を引き出そうとしているか。
- 生徒が自らの考えを整理したり、意見交換したりする仕組みが考えられているか。
- 生徒の発言に対して傾聴的態度で接しているか。
- 生徒の発言に共感的に対応しているか。
- 生徒とのコミュニケーションがとれているか。
- 生徒の発言をまとめられているか。
- 生徒の発言を、授業の展開にうまく利用できているか。
- 個人やグループ(全体)への介入が適切に行われているか。

3 生徒に身につけさせたい10の力「巨摩テンスキル」

「巨摩スタイル」の実践は授業だけにとどまらず、学校行事や部活動で友達や先生と話し合いながら、協力し合ってゴールを目指し、その中で解決すべき課題を見つけ、解決法を探りながら成長できるように、巨摩高校の生活全てに関わることを目指しています。

「巨摩スタイル」を通じての学びは、生徒が将来にわたって主体的に学んでいく際に必要な力を身につけるのに有効だと考え、生徒が卒業までに身につけるべき10の力「巨摩テンスキル」（1 観察力 2 思考力 3 創造力 4 情報分析力 5 情報活用力 6 説明力 7 行動力 8 傾聴力 9 想像力 10 自己肯定力）を定め、授業にあたっての目標に使い、「巨摩テンスキル教員評価ルーブリック」による自己評価や相互評価なども行っています。以下にその一部を抜粋しました。

巨摩テンスキル教員評価ルーブリック

		年 月 日 () 校時 実施教室		
授業者		対象生徒・人数等		
教科・科目・単元等				
評価する力	授業内の多数の生徒が次のような状態であるか？			
	Excellent 活動して結果が出ている	Good 活動している	Developing もっと活動的に)	
1 観察力 ・学習内容に疑問を感じる力 ・日常生活の中に疑問点や改善点を見つける力 ・感じた疑問を解決しようとする力	生徒は、対象を観察し疑問点や改善点など、新たな発見を見出そうと活動しており、その結果が授業内で認められ共有されている。	生徒は、対象を観察し疑問点や改善点など、新たな発見を見出そうと活動している。	生徒の、対象を観察する活動が不十分で疑問点や改善点など、新たな発見を見出せていない。	
2 思考力 ・課題を論理的に考える力 ・課題解決のためのステップを設定できる力 ・仮説を設定できる力	生徒の、対象を明らかにして論理的に考える活動は深められ、その結果が授業内で認められ共有されている。	生徒は、対象を明らかにして論理的に考える活動をしている。	生徒の、考える活動が非論理的な状態で終わっている。	
3 創造力 ・課題解決のための方法を過去の事例を参考に企画する力 ・課題解決のための方法を自由な発想で新たに企画する力 ・新たな仮説を立てられる創造力	生徒は、過去の事例や既存の知識を動員し、新たなアイデアを生み出そうとする活動をしており、その結果が授業内で認められ共有されている。	生徒は、過去の事例や既存の知識を動員し、新たなアイデアを生み出そうとする活動をしている。	生徒は、過去の事例や既存の知識を動員し、新たなアイデアを生み出そうとする活動を十分していない。	
4 情報分析力 ・必要な情報を収集しまとめる力 ・情報と疑問を照合し整理する力 ・整理した状況から課題を見つける力	生徒は、様々な情報を集め、まとめ、分析する活動をし、その結果相互交流的に高められた情報は、授業内で認められ共有されている。	生徒は、様々な情報を集め、まとめ、分析する活動をしており、集められた情報は相互交流的に高められている。	生徒の、情報を集める活動、まとめ、分析する活動のどれかが不十分であるか、集められた情報が個別に独立した状態である。	

4 生徒の変容から学ぶこと

授業を通して、生徒は少しずつ変化してきました。

入学時は比較的小となしく、なかなか自分の意見を人前で発表できなかった生徒も、恥ずかしがらずに仲間と意見交換できるようになりました。生徒総会でも多くの意見が出るようになってきました。

このように積極的に自ら考え、自分の意見を発表する生徒達の変容を目にすると、授業改善の持つ力の大きさを痛感します。

また一方で、「巨摩スタイル」の課題も浮かび上がり、その解決のため、教員間の意見交換の機会が増えていることも大きな収穫です。



授業の様子（英語）

グローバル人材育成留学プログラム

高校教育課

1 はじめに

高校教育課では、同世代の外国人と探究的・協働的な学習を通じて、多様な価値観に触れる留学の機会を提供し、自らが主体的に行動できるグローバル人材の育成を目的とした「グローバル人材育成留学プログラム」を平成27年度より実施しています。

3回目となる平成29年度は7月26日から8月2日までの8日間の期間で実施し、県内7校から20名の高校生が参加しました。

【対象者】県内に在住し、県内の公・私立高等学校に在学している高校生

【訪問先】アメリカ合衆国アイオワ州・カリフォルニア州（H27～H29実績）

【参加費】約30万円（山梨県から10万円の補助金+自己負担金20万円）

ただし、市町村民税所得割額が非課税である世帯は補助金として30万円を予算の範囲内で支給

2 留学プログラムの内容

- ①【事前学習会】出発までの期間を利用し、3回の事前学習を行います。英語力の向上を目指したワークショップや山梨県とアイオワ州に共通する社会課題について協働学習を行い、研修旅行中の課題解決に向けた視点を共有します。



英語で行うロールプレイ



英語でのプレゼンを学ぶ



英語でのプレゼンにチャレンジ



協働学習で視点を共有



②【結団式】

出発を間近に控えた7月中頃、結団式を行います。参加生徒は決意表明を英語で行い、留学へのモチベーションを高めます。

- ③ 【現地視察】 日本での事前学習で立てた仮説を検証したり、ホストファミリーをはじめとする現地の人々との交流を通したりして視野を広げ、語学力を向上させます。



農業を学ぶ学生との交流



アイオワ州の大豆組合を訪問



現地でのプレゼンテーション



スペースシャトルと記念撮影



福祉施設での文化交流

- ④ 【事後学習会】 留学中に作成したプレゼンを日本で保護者に英語で披露するとともに、留学で得られた知見を共有・整理し、成果をまとめます。

3 参加者の声

この留学プログラムは私自身にたくさんのものを残してくれました。親元を離れて、外国でひとり生活するのは不安でしたが、帰るときには少しだけ大人になった気がして、自分の自信につながりました。本当に充実していて、私の人生の大切な一部となる1週間でした。

問題を解決する力に変化はあったか。…すぐには見当たらないが、分かったことがある。自分が疑問に思ったことを質問すればするほど自分の世界が確実に広がっていく、ということだ。ホストファミリーに質問すると何でもわかりやすく教えてくれた。質問するのが楽しかった。

ホストファミリーはとてもよい人達で、空いた時間に教会の日曜学校の教室や礼拝堂に連れて行ってくれたり、日曜のマーケット、貧しい人のためのボランティアにも参加させたりしてくれました。短い期間の中でよりたくさんの経験を積みさせてくれたことに、本当に感謝しています。

事前調査から始まり、入念な準備を経てアメリカで過ごした時間は、本当に楽しかったです。一緒にプログラムを作った19人の仲間とは、とても良い関係を築くことができ、ホストファミリーや現地の方々の優しさにも触れました。英語でコミュニケーションをとることの難しさも楽しさも学びました。非常に密度の濃い、一生の思い出に残る日々でした。

「しなやかな心」の育成プロジェクト
家族で元気UP!
 アップ
 スポーツ健康課



なぜ、家族で元気アップ？

健康や体力は、すべての活動の源です。しかし、子どもの体力に関しては、運動をする子とそうでない子の二極化傾向や女子の運動離れが、依然深刻な問題です。

スポーツは、生涯にわたってたくましく生きるための健康や体力の基礎を培うとともに、公平さと規律を尊ぶ態度や克己心を養うなど人間形成に重要な役割を果たします。

体力・運動習慣等の調査結果から、幼年期の多様な運動経験や家族からの運動やスポーツの勧めが、体力向上や運動する機会の増加につながると報告されています。幼児期には運動する楽しさを十分に体験することが大切です。

「元気な子ども」は「元気な家族」から！
 キーワードは「家族で運動」です！

大きな声で「あいさつ」をしよう！
 のびのび「体操」をしよう！
 さわやかに「ウォーキング」をしよう！

毎日、合計90分は、楽しく体を動かしましょう！

親子で楽しく元気アップ
 身近なもので運動遊び

【1】 階段ですつなぎダンス
 【2】 おじおにタオルで促す遊び
 【3】 パットボールとマラソンの
 【4】 親子で楽しくお石ころ遊びゲーム！

そこで、家族で元気アップ！「元気な子ども」は「元気な家族」から！ まずは、家族みんなで外へ飛び出し、汗を流してみましよう！ キーワードは“家族で運動”です！

家族で元気アップは、遊びや運動をきっかけに家族のコミュニケーションが豊かになり、家族全員の健康や体力の向上も期待できます。

また、山梨県教育委員会が推進する「しなやかな心の育成」に関して、自他を敬愛する心や困難に直面しても粘り強く最後まであきらめない心の育成にもつながるでしょう。



◎過去のリーフレットや、昨年の「家族で元気アップ教室」の様子が御覧になれます。

「しなやかな心の育成プロジェクト」(家族で元気アップ) ホームページ

<http://www.pref.yamanashi.jp/sports/gakutai/sinayaka.html>



博学連携の取り組み

～ 文学館の取り組み ～

県立文学館

○ 「文学館をもっと身近に」「文学館を学習の一部に」

博学連携の期待が高まる中、文学館では館の資料をより活用しやすい形で各学校へ提供したいと取り組んでいます。

1 高校生のための文学創作教室

平成24年度から高校文化連盟文芸部門との共催事業として、高校生のための文学創作教室を実施しています。ミュージシャンや歌人、映画監督やエッセイストなど、多様なジャンルで活躍している方々を講師にお招きしてきました。今年は7月9日に、小説家の長野まゆみさんに「子どものころに好きだった本&どうして小説家になろうと思ったか」という演題でお話ししていただきました。長野さんが幼少時から親しんできた書物や、小説家の道を選んだ理由などが手描きのイラストとともに語られ、とても有意義なひとときとなりました。

「常日頃から文字に親しむことの大切さが実感できた」「読書はもちろん、本の表紙や挿絵が長野さんの創造性をはぐくんだことが分かった」等々の感想をいただきました。

創作に関わる高校生にとって、第一線で活躍している講師の話聞き、また意見を交わすことのできる機会は、大きな動機付けとなります。また、ここ数回は高校生以外の一般の方々にもたくさん参加をいただいています。今後もこうした機会を設けることで、県内の若年層の文芸活動を応援していきたいと思います。



長野まゆみ氏

2 アウトリーチ（移動文学館）



宮沢賢治のセット

現在は石川啄木、飯田蛇笏・龍太、村岡花子と赤毛のアン、宮沢賢治の4種類のセットがあります。

どのセットも好評で、昨年度は小学校から高等学校まで30校以上のご利用をいただきました。

授業の導入に、授業後の発展学習に、図書館や廊下等に展示して読書の意欲を高めたりと、様々な形でご利用をいただいています。中には関連する書籍を集めて紹介したり、校内のあちらこちらに俳句コーナーを設けたりと工夫をいただいている学校もあります。機会があればいろいろ

な学校の利用例も紹介していきたいと考えています。

セットのお届けや回収は文学館の担当職員がいたします。文学館から遠く、ふだん足を運ぶ機会が少ない地域の学校のご利用も歓迎します。ご利用は無料です。遠慮なくご連絡ください。

3 総合教育センターとの連携・教師のための学習会

総合教育センターとの連携事業を行っています。7月25日には山梨県出身の能楽師 佐久間二郎さんによる「文学館の魅力活用研修会～能と文学」を実施しました。午前は講義、午後は子ども達も参加するワークショップで能を体験していただきました。講師と受講者が同じフロアでふれあいながら進める体験活動は、貴重な体験になりました。参加者には今まで以上に伝統芸能に親しみを感じていただけたと思います。



佐久間二郎先生

また、11月10日には初任者の先生方に文学館を知ってもらうための研修も実施します。

普段は入ることのできない書庫の見学や、展示室で使う学習ツールの評価などを通して、新たな博学連携プランを考案・提示してもらう時間も持つ予定です。

企画展・特設展の時期に実施している「教師のための学習会」や、図書館司書の先生方の研修や教科研修会、校内研修などで文学館を利用してもらうなど、様々な機会を通して、児童・生徒だけでなく、先生方との連携も深めていきたいと考えています。

4 出前授業

各学校の教育ニーズに応じて、各校の先生方と文学館職員で話し合いながら出前授業を行っています。中央高校では「清里での校外学習で俳句を作ろう」を目標に、文学館職員による



浅川中「3年生一斉短歌教室」

授業を行いました。午前・午後・夜間の各部約130人が対象です。飯田蛇笏・龍太の生涯や代表句を学んだ後、俳句作りを練習しました。季語や語感を確かめながら五・七・五と指を折って句作に励む姿が見られました。校外学習後、生徒作の句を送っていただきました。作品から学習の成果が感じられたのは、私たち文学館職員にとっても大きな喜びでした。

笛吹市の浅川中では文学館の三枝館長を講師に「3年生一斉短歌教室」を行いました。地元出身の飯田蛇笏・龍太の俳句の素晴らしさを導入に、よい短歌についての話、そして各学級代表の短歌

発表。学年が一体となった素晴らしい授業になりました。浅川中の生徒の皆さんや先生方の日常の取り組みを想像しつつ、そのような場を作るお手伝いのできたことを嬉しく感じました。

◆問い合わせ先

山梨県立文学館／電話 055-235-8080／FAX 055-226-9032

「わたしらしさ」を応援します ～相談支援部における相談業務について～

総合教育センター 相談支援部

総合教育センター相談支援部は、「教育相談担当」「特別支援教育担当」「適応指導教室担当」の3つの担当で構成されており、相互に連携しながら、学校生活に困難さを抱えている児童生徒やその家族、学校に対して、相談・支援を行っています。

ここでは、それぞれが行っている相談業務について紹介しますので、御活用ください。

教育相談担当

いじめ・不登校などをはじめとする、学校生活や家庭生活の悩み事や困っていることについて電話や面接での相談を行っています。

○電話相談 **055-263-3711**

＜いじめ・不登校ホットライン＞

365日・24時間体制で、専門の電話相談員が対応します。

○面接相談 ＊電話での予約が必要です。

本センターの指導主事が、対応します。

＜対象＞ 児童生徒 保護者 教職員

＜相談日＞ 平日 午前9時～午後5時

＊面接の予約は、電話相談の電話番号へ



特別支援教育担当

障害のある幼児児童生徒の就学や転入学、学校生活における適切な支援の在り方について、相談・支援を行っています。

○電話相談 **055-263-4606**

＜相談日＞ 平日 午前9時～午後5時

○来所相談 ＊電話での予約が必要です。

＜相談日＞ 平日 午前9時～午後5時

- ・就学・転入学に関する相談・検査
- ・学校生活における適切な支援の在り方についての相談・検査
- ・「教育相談における所見」の発行



こすもす教室（適応指導教室）

不登校の児童生徒の支援のために、石和・韮崎・都留にこすもす教室を開設しています。各教室では、心の居場所づくりを第一に考え、一人一人の実態やニーズに応じた学習支援、体験活動、教育相談を行っています。

○教育相談 ＊随時

児童生徒・保護者に対する面接相談

＜石和＞ **055-261-1271**

＜韮崎＞ **0551-22-1133**

＜都留＞ **0554-45-1161**

＜教育相談の案内＞

4月に学校を通じて、家庭に配付しました。

＊詳しくは、各教室にお問い合わせください。

＊相談支援部では、学校等におけるケース会議への参加、学習会・研修会の講師等もお受けしています。詳しくは、総合教育センターホームページ（総合案内→学校訪問）を御覧ください。

http://www.ypec.ed.jp/htdocs/?page_id=413

Click!

「自ら学び 豊かな心をもつ たくましく生きる子どもの育成」を目指して

→ 身延町立下山小学校

平成29年3月、身延町内の3小学校（下部小学校・原小学校・下山小学校）が閉校し、4月に新たな下山小学校が開校しました。児童数113名・教職員21名でのスタートとなり、児童も教職員も新たな学校づくりを意識しながら、学校教育目標の「自ら学び 豊かな心をもつ たくましく生きる子どもの育成」の具現化に向け、その第一歩を踏み出しました。また、「よく考え、自ら学ぶ子（かしこく）、思いやりをもち、生命を大切にする子（やさしく）、すすんで運動し、最後までやり遂げる子（たくましく）」を目指す子ども像として掲げ、下山小学校の学校教育活動を通して育成しようとしております。

7月21日をもって1学期が終了しましたが、これまでを振り返ってみると、学校全体が活気にあふれ、友達も増え、みんな満足そうに学校生活を送ってきました。今後も、児童の実態把握に努め、より満足度が高い学校生活が送れるよう努力して参ります。

また、児童会活動にも力を入れてきました。児童をまとめる児童会役員は、昨年度、旧3小学校から2名ずつ選出され、計6名で様々な活動を支えています。スローガン「広げようみんなの笑顔 つなげよう 知恵とやる気の輪」のもと、挨拶運動、金曜集会・ゲーム集会、ボランティア活動を通して、笑顔あふれる活動をしています。

今年度は、旧の小学校で培ってきた学校文化が融合し、下山小学校の新しい伝統を築いていく初年度となります。1年間を通して、子どもたちの成長を第一と考え、今後も、「学力向上」「豊かな心の育成」「体力・健康づくり」に邁進して参ります。



平成29年4月6日 開校式



朝の挨拶運動の様子

甲府城西新時代 ～創立20周年を迎え、その先へ～

→ 県立甲府城西高等学校

総合学科高校とは、「普通科」と「職業に関する専門学科（農業・工業・商業・福祉など）」の特徴を合わせもつ高校です。多様な進路希望の生徒がそれぞれの希望を実現できるように数多くの選択科目が用意され、生徒一人一人が自分の進路希望に応じた科目を選択し、夢を実現するための学びに取り組みます。本校は県内初の総合学科高校として設立され、昨年11月に創立20周年を迎え、本年は21年目の歩みを進めています。

「甲府城西新時代」を掲げて、教育課程の改善など、いくつかの新たな取り組みをはじめました。その中でも代表的なものが、山梨県立大学との連携事業です。福祉や看護に関する授業では、以前から県立大学の先生に本校へお越し願ひ、授業を行っていただきました。それに加えて、生徒が今後生きていくために必要な課題探求能力やプレゼンテーション能力を高める目的を果たすために、大学との連携が必要と考え、今年の1月に高大連携協定を山梨県立大学との間で結びました。

今年度は、国際政策学部の先生方と本校の2年次生が、「山梨や甲府の街を調査し、良いところや紹介したいところを探し、県外や世界に発信する」という研究テーマを決め、アンケートなどさまざまな調査活動を行い、結果をもとに地域の活性化につながる数多くの提案などを発信したいと考え、探究活動に日々励んでいます。



校舎全景



創立20周年記念式典



県立大での連携授業

特別展

「ヴラマンク展 絵画と言葉で紡ぐ人生」

県立美術館

【内 容】

モーリス・ド・ヴラマンク（1876－1958）は、音楽家、自転車競技者としての活動を経て、激しい色彩表現を特徴とする「野獣派(フォーヴィスム)」の画家として名を馳せました。その後、セザンヌの芸術を受容することで、落ち着いた色彩と堅固な空間表現を獲得しますが、同じくセザンヌ芸術から開花したキュビズムをはじめとする同時代の前衛芸術の展開に追従することなく、独自の絵画表現を探求しました。パリの喧騒から離れた地を拠点とし、静かな生活を送る中、村の家々、道、雪景色、自宅で目にした花束や静物といった身近な対象を生涯繰り返し描きました。自身の内に沸き起こる詩的な感情と向き合い、絵画として表現し続けたその画業は、佐伯祐三や里見勝蔵といった日本人画家にも大きな影響を与えました。

本展では、フランス、スイスで所蔵される作品を中心とした約80点を展覧し、その画業を辿ります。また、画家のみならず、文筆家としての旺盛な表現活動にも着目し、絵画と言葉によって紡がれた、孤高の芸術家人生を探ります。



《サイロ》1950年 油彩・カンヴァス フランス、個人蔵



モーリス・ド・ヴラマンク

特別展

「ヴラマンク展 絵画と言葉で紡ぐ人生」

日 時：平成29年9月2日(土)～10月22日(日)

場 所：山梨県立美術館 特別展示室

入場料等：一般1000円 大学生500円 県内65歳以上、高校生以下は無料

問い合わせ先：県立美術館 TEL 055-228-3322

関連HP <http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>

Click!

特別展 「狩野芳崖と四天王」

県立美術館

【 内 容 】

幕末から明治にいたる近代日本画の黎明期を代表する狩野芳崖。畢生の大作《悲母観音》は、近代日本画の原点と称えられ、また、多くの後進たちが憧れ、学び、そして乗り越えようとした。中でも岡倉秋水、岡不崩、高屋肖哲、本多天城は、芳崖に師事した最後の弟子として、「芳崖四天王」と称されます。しかし、芳崖は東京美術学校（現、東京藝術大学）の開校直前に没し、日本画壇が校長岡倉天心に牽引された横山大観、菱田春草ら、後に日本美術院で活躍する気鋭の画家たちで大勢を占めるようになると、彼らは、中央画壇から遠ざかり、今では忘れ去られた存在となってしまいました。

本展は、かれら四天王に光を当てた初めての展覧会です。知られざる画業を新出作品や初紹介資料等を通じて多角的に辿るとともに、大観、春草らの作品もあわせて約90点を展観します。

【 主な作品 】



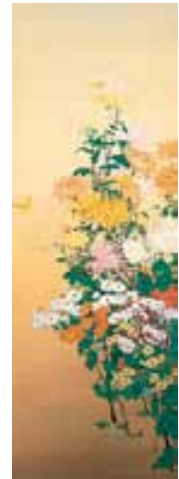
狩野芳崖《大鷲》
東京藝術大学蔵



【重文】
狩野芳崖《悲母観音》
東京藝術大学蔵



岡倉秋水《矢面》
福井県立美術館蔵



岡不崩《菊花図》
福井県立美術館蔵



高屋肖哲《武帝達磨謁見図》浅草寺蔵

特別展「狩野芳崖と四天王」

日 時：平成29年11月3日(金・祝)～12月17日(日)

場 所：山梨県立美術館 特別展示室

入場料等：一般1000円 大学生500円 県内65歳以上、高校生以下は無料

問い合わせ先：県立美術館 TEL 055-228-3322

関連HP <http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>

Click!

津島佑子展 いのちの声をさかのぼる

県立文学館

1 自らの経験を織り込んだ初期作品



津島佑子
写真提供 毎日新聞社

2016年2月18日に逝去した作家・津島佑子^{ゆうこ ぼつこ}の歿後初の展覧会です。

津島佑子（本名・里子）は、津島修治（筆名・太宰治）と、都留高等女学校の教員だった美知子の次女として、1947（昭和22）年に生まれ、白百合女子大学在学中より小説を書き始めます。離婚後の幼い娘との生活を描いた「光の領分」、障害を持ち15歳で夭折した兄との記憶をたどる「黙市」^{だんまりいち}、息子の死から半年後に連載が開始され、千年前の王朝物語「夜の寝覚」の語り手と自分に近い語り手が交互に物語を繰り広げる「夜の光に追われて」など、自身の体験をもとに女性の内面世界を見つめた作品を発表していきます。

2 甲州を描いた「火の山 — 山猿記」^{やまざる}

1996年から連載を開始した「火の山 — 山猿記」は、母・美知子の生家・石原家をモデルに、甲州を舞台とした三代にわたる一族の人々と時代を、壮大なスケールで描き出した物語です。

構想から約5年がかけられ、執筆にあたっては何度も山梨に調査に訪れています。原稿用紙1600枚以上におよぶ大作となり、この作品により1998年に谷崎潤一郎賞、野間文芸賞を受賞しました。



津島佑子 「火の山 — 山猿記」原稿 当館蔵

3 長編小説の世界

「火の山 — 山猿記」以後も、多数の長編小説を発表していきます。戦後の混乱期を旅する少年少女の二人を幻想的に描いた「笑いオオカミ」、戦争で生まれた混血孤児と日本人の幼なじみが遭遇した事件に半世紀にわたって向き合う「ヤマネコ・ドーム」、17世紀にアイヌの母と和人の間に生まれキリシタン一行と海を渡った女性を描く「ジャッカ・ドフニー海の記憶の物語」など、戦争孤児や少数民族、差別、原発の問題へと小説のテーマが広がりました。

本展では、津島佑子の生涯と、「火の山 — 山猿記」を中心とする作品世界を顕彰します。

企画展「津島佑子展 いのちの声をさかのぼる」

日 時：平成29年9月23日(土・祝)～11月23日(木・祝)

場 所：山梨県立文学館

観 覧 料：一般600円 大学生400円 高校生以下の生徒・児童は無料

問い合わせ先：TEL 055-235-8080

関連HP <http://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/>

Click!

企画展「甲府徳川家－六代将軍家宣を生んだ知られざる名門－」

県立博物館

江戸時代の甲斐国について、「そのほとんどが幕府直轄領だった」という説明をされることがよくあります。しかしこれは本当でしょうか。江戸時代はおよそ260年、そのうち甲斐国全域が幕府の直轄領だったのは、後半の140年あまりです。260分の140、確かに半分以上ではありますが、これを「ほとんど」というのは少し言い過ぎではないか、と思いませんか。

甲府藩を治めていた数少ない大名として知られているのは柳沢吉保・由里親子やなぎさわよしやす よしさとです。しかし、その柳沢家の治世も、甲斐国においては約20年に過ぎません。それより長く、およそ50年にわたって甲斐や信濃などの所領を支配していたのは、将軍一門の甲府徳川家でした。

甲府徳川家の甲府藩は、徳川家光の子・綱重つなしげを初代とし、甲府城を中心に、甲斐・信濃・駿河など数か国、約35万石を治めた大藩でした。関東周辺の諸藩でこれに匹敵する石高を有したのは、同じ将軍家一門の館林徳川家と水戸徳川家くらいのものでした。それだけ甲府藩は、江戸幕府から重要な位置を与えられていたのです。

これほどの甲府徳川家が、なぜ忘れ去られてしまったのでしょうか。その背景には、二代綱豊つなとよが歩んだ数奇な運命がありました。

この秋、知られざる江戸時代の甲斐国の歴史を、博物館でひもといってみませんか。

【関連イベント】(予定) ※いずれも参加無料

◆かいじあむ子ども工房

「検地体験！土地の広さをはかってみよう」

日 時：10月14日(土)

①10:30～12:00、②13:00～14:30

※申込不要、各回20名程度

◆古文書講座「甲府徳川家に関する古文書を読む」

日 時：10月28日(土)・11月25日(土)

13:30～15:00

会 場：生涯学習室

※イベントの日程・内容は変更する場合があります。

詳しくは博物館ホームページなどでご確認ください。



徳川家宣画像
(部分、奈良長谷寺蔵)



甲斐国絵図
(当館蔵)

企画展「甲府徳川家－六代将軍家宣を生んだ知られざる名門－」

会 期：平成29年10月7日(土)～12月4日(月)

観 覧 料：一般1,000円、大学生500円、小・中・高・特別支援学校等の児童・生徒は無料

問い合わせ先：県立博物館 TEL 055-261-2631

関連HP <http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

Click!

第35回特別展「ひつぎのヒミツ～棺から読み解く古墳時代～」

県立考古博物館

1 古墳の魅力を再発見！

今から約1,700年前、日本では有力者たちが権威を示す手段として墳墓を利用し、形や大きさもさまざまな「古墳」を造る文化が全国に広まりました。山梨県でも、東日本最大級の前方後円墳である甲斐銚子塚古墳や大丸山古墳といった大型古墳をはじめ、各地に数多くの古墳が築かれた時代であり、その雄大な佇まいと豊富な副葬品の数々は今なおわたしたちの心を惹きつけてやみません。本展では、古墳出土品の中でも特に多くの事実を浮かび上がらせる「棺（ひつぎ）」にスポットを当て、全国各地で発見された現存する石棺・木棺・陶棺などを国宝・重要文化財を含む貴重な副葬品とともに紹介しながら、この時代の人々の死生観・来世観の変遷をご覧ください。



陶棺 井之上古墳
國學院大學博物館蔵(6世紀末)

2 関連イベント

●特別展記念講演会 会場：風土記の丘研修センター <全日13:30～15:00>

- 第1回：「古墳時代の木棺」平成29年10月22日(日)
岡林 孝作 氏(奈良県教育委員会文化財保存課)
- 第2回：「東日本の古墳と石棺・陶棺」平成29年11月5日(日)
石橋 宏 氏(東北大学埋蔵文化財調査室)
- 第3回：「棺から読み解く古墳時代」平成29年11月19日(日)
和田 晴吾 氏(兵庫県立考古博物館長)

- ◆参加費 無料(ただし事前申し込みが必要です)
- ◆会場 山梨県立考古博物館 風土記の丘研修センター講堂

●考古博物館イベント 会場：県立考古博物館、甲斐風土記の丘曾根丘陵公園

- ◆風土記の丘探検隊(要予約)
平成29年11月12日(日)9:30～12:30
甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園周辺古墳や遺跡をめぐりながら秋の歴史散策を楽しみます。
- ◆県民の日イベント「古墳時代へようこそ！」
平成29年11月20日(月)9:00～15:00
この日は大人も子どもも入館無料!「古墳」にちなんださまざまな体験イベントで遊びましょう!

●ものづくり教室 会場：風土記の丘研修センター(それぞれ1ヶ月前から予約できます)

- ◆原始古代の技に学ぶ(16歳以上対象)「須恵器作り」10月29日(日)・11月4日(土)
- ◆チャレンジ博物館(小中学生親子対象)「須恵器づくりにチャレンジ」11月5日(日)

第35回特別展「ひつぎのヒミツ～棺から読み解く古墳時代～」

日 時：平成29年10月4日(水)～11月23日(木・祝)9:00～17:00(入館は16:30まで)
休 館 日：毎週月曜日(10月9日・11月20日は開館)
入 館 料：大学生・一般 600円(常設展とのセット料金有)、団体(20名以上)480円
小中高生・県内在住の65歳以上無料(要証明書)※常設展は別途観覧料が必要
問い合わせ先：山梨県立考古博物館 TEL:055-266-3881 FAX:055-266-3882

関連HP <http://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

Click!

山梨近代人物館

学術文化財課

第6回展示「日本の発展に貢献した山梨の人々」

山梨近代人物館では、10月から第6回展示「日本の発展に貢献した山梨の人々」と題して、日本の近代化の光と影のなかで、さまざまな課題に取り組んだ9人の山梨の人々について展示いたします。今回はそのなかから、日本や山梨の産業発展に貢献した3人についてご紹介します。

かつての山梨はカイコを飼って生糸を生産する「養蚕王国」でした。生糸は明治時代における日本の最大の輸出品でもあり、その生産量の向上や品質の改善は大変重要な課題でした。山梨において養蚕・製糸業の改良に尽力したのが、山梨郡歌田村（現在の山梨市）出身の八田達也です。八田は養蚕に関する技術書をわかりやすい解説とイラスト入りで著し、そのなかで「養蚕は山梨第一の生産物であり、日本の繁栄はこの養蚕業の発展にかかっている」と述べて山梨の養蚕業者たちを鼓舞しています。また、通常のカイコの孵化シーズン以外にも養蚕が可能になるよう、冷涼な富士風穴でカイコの卵を保管する事業を展開しました。

こうした養蚕業の改良の一方で、生糸の生産拡大のための大規模な機械製糸場の整備に尽力したのが、甲府山田町出身の名取雅樹です。名取は「日本の利益を増やし、人々の仕事や財産を増やしていくのは製糸業以外ない」と述べ、生涯を通じて製糸業の改良に尽しました。明治初期には藤村紫朗県令の信頼を得て、その右腕として県内最大にして官営富岡製糸場に次ぐ規模となる勸業製糸場の整備と経営にあたりました。

同じく藤村県令の信任を得て、山梨県の殖産興業政策のなかで活躍した人物が、巨摩郡穴山村（現在の韮崎市）出身の栗原信近です。栗原は山梨最初の銀行である興益社（のちの第十国立銀行、現在の山梨中央銀行）を設立し、山梨の産業の発展に尽しました。さらに、紡績工場の設立やぶどう栽培の改良普及に努め、山梨に新たな産業を根付かせるために活躍しました。栗原は「自分自身のことを考えている暇はない。ただ山梨県内の人々の利益のみを望んでいる。」と述べ、その私財を投げ打ち公益を追い求める姿勢を、人々は「明治の二宮尊徳」と評しました。

こうした明治の殖産興業政策のなかで活躍した人物のほか、今回の展示ではハンセン病医療に尽力した小川正子、東京タワーを設計した「塔博士」内藤多仲、第55代内閣総理大臣となった石橋湛山、阪急・宝塚グループを築いた小林一三、「鉄道王」にして教育普及に尽力した根津嘉一郎、今年開業90周年を迎える「地下鉄の父」早川徳次について展示いたします。ぜひ今回の展示で、現在のわたしたちの社会の基盤を築いた先人たちの軌跡をたどってみてください。



富士風穴での蚕種（カイコの卵）保存事業を紹介する「富士風穴略説」

（山梨県立博物館 蔵）



勸業製糸場を描いた錦絵
「山梨県甲府勸業場之図」

（山梨県立博物館 蔵）



栗原が建設した市川紡績所
（個人蔵）

山梨の文化財

学術文化財課

県指定史跡 徳川家康側室養珠院墓所（南巨摩郡身延町大野）

養珠院（ようじゅいん、剃髪前の通称はお万の方、1580～1653）は徳川家康の側室であり、初代紀州藩主の徳川頼宣（よりのぶ）や初代水戸藩主の徳川頼房（よりふさ）の母でもあります。法華信仰に篤かった養珠院は、身延山久遠寺や大野山本遠寺などを護持するほか、当時女人禁制であった身延の七面山に女性として初めて登詣しました。晩年は江戸の紀州藩邸で過ごしましたが、遺言により、ここ大野山本遠寺に葬られました。



県指定史跡 徳川家康側室養珠院墓所

墓所には徳川頼宣が母養珠院の菩提を弔うために建立した宝篋印塔（ほうきょういんとう）や紀州徳川家の供養塔、石灯籠などがあり、玉垣（たまがき）に囲われています。宝篋印塔や玉垣などは花崗岩（かこうがん）で造られています。山梨の重要な歴史書である『甲斐国志（かいこくし）』には、これらの花崗岩は石村（現在の笛吹市一宮町）の京戸山から切り出したとの記述があります。また、同書の中には「京戸山二出ルヲ上トス」と記述されており、当時上質なものと認められていた京戸山の花崗岩が材料に選ばれていたことがわかります。

宝篋印塔は西国と共通する様式のもので、施主が紀州藩主徳川頼宣であることとの関係が窺えます。また、この玉垣は柱状の石材を組み合わせて造られたものではなく、1枚の巨大な板状の石材をくり抜いて造られるという珍しい工法によるものですが、この造り方は同じく頼宣が母養珠院の菩提を弔うために和歌山に造営した海禅院（かいぜんいん）の多宝塔を囲う玉垣にもみられる特徴であり、この点でも和歌山との関係を垣間見ることができます。

徳川家康側室養珠院墓所は、養珠院を介して展開された徳川政権下の日蓮宗と本遠寺の歴史に係わる遺産であるとともに、墓所に残る様々な石造物にみられる本県の高い石材加工技術などを現在に残す遺産であるといえます。また、灯籠の銘文は、当時の紀州藩重臣の構成や序列を示す良好な資料となっています。これらの価値が評価され、平成20年5月に、山梨県の史跡に指定されました。



左：山梨県指定史跡徳川家康側室養珠院墓所の玉垣。赤枠内は、それぞれ1枚の岩をくり抜いて造られている。
右：和歌山市海禅院多宝塔を囲う玉垣。山梨の養珠院墓所と同様、1枚の板状の石材をくり抜いたものを組み合わせて造られている。

かいじあむの秋まつりのお知らせ

県立博物館

11月20日は、山梨県の「県民の日」です。県民の日には、毎年恒例「かいじあむの秋まつり」を開催しております。収穫の秋ならではの体験や工作をご家族でお楽しみください。

■開催日時 平成29年11月20日（月・山梨県民の日）

午前10時～午後3時（昼12時～1時は、お昼休みとなります）

■会場 山梨県立博物館 館内各所

■開催イベント

- ・ 鎧の試着体験
- ・ 野菜の収穫体験
- ・ ほうとう試食
- ・ 紙すきで絵はがきを作ろう
- ・ けん玉に挑戦しよう（協力：河井 透氏）
- ・ 茶道体験（協力：みさかおやこさどうきょうしつ）
- ・ 能楽体験ワークショップ
県民の日スペシャルプログラム
（講師：佐藤 陽氏）

などを行う予定です。



※イベントの日程・内容は変更する場合があります。詳しくは博物館HPにてご確認ください。

※当日は、企画展「甲府徳川家」（10月7日～12月4日）を開催しております。合わせてご覧ください。

【問い合わせ先】

県立博物館 〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

TEL:055-261-2631(代表) FAX:055-261-2632

関連HP <http://www.museum.pref.yamanashi.jp>

Click!

丹波山村立丹波小学校 <http://www.tabayama.ed.jp/tabasho/>

Click!

 丹波小 学校だより	夢 の 泉	発行日 平成 29 年 7 月 20 日 第 9 号 文責：小宮山
<h3>サマーバイキング</h3> <p>7月5日(水)、サマーバイキング給食が行われました。毎月、花見給食、青葉給食、七夕給食、お誕生日給食と、栄養教諭が趣向を凝らした給食を計画してきましたが、これまでに一番、品数も量も多くありました。ちなみにメニューは、焼肉屋風ごはん、中華蒸しパン、夏野菜の酸辣湯、えびポテマヨ、豚の角煮、わかめサラダ、フルーツパンチ、牛乳。皆で味わいながらおいしくいただきました。</p>		
<h3>見事な祇園祭の舞！</h3> <p>7月15日(土)の祇園祭に全校児童10名が参加しました。押垣外と宿の2つの神社で「ささら獅子舞」を披露しました。白刃、ささら、広腰隊を組織して、立派に「ささら獅子舞」を舞うことができました。一人一人の児童が一生懸命に取り組む姿に、地域の方々や観光客などからも惜しみない手をいただくことができ、児童も自信になったことと思います。保護者の皆様には、6回の夜の練習の送迎などご協力をありがとうございました。文化財保存会の方々には、子どもたちのために熱心にご指導いただきました。改めて感謝申し上げます。</p> <p>丹波小学校「ささら獅子舞」の取組はまさに学校と家庭、地域が連携した教育です。今回は、児童は、学校ではできない貴重な経験をすることができました。御支援、御協力、ありがとうございました。</p>		

丹波小学校では月2回のペースで学校だよりを発行しています。本校の特色ある教育活動、地域と一体になった活動等を掲載し、保護者や中学校及び教育委員会に配布しています。外部への情報発信としてブログにもアップしています。

ありがとうございました 休日学級

6月10日(土)は、休日学級への御参加・御協力をいただきまして、ありがとうございました。


「運動・あそび発見市」「選書会」「親子昼食会」「丹波川清掃・体育館屋上清掃」とたくさんの内容を実施することができました。

「運動・遊び発見市」では、4種類の遊びを教えてくださいました。ふだんの休み時間や放課後は、児童数の関係からサッカーに終始しがちなのですが、保護者や教職員の参加により、大勢で楽しく遊ぶことができました。今後、児童の遊びの幅が広がっていくことを願います。

「選書会」では、約700冊の本を準備してもらいました。その中から、「物語」「学習」等、部門別のお気に入りの本を選びました。保護者の方々には、集計作

甲府市立南西中学校 <http://www.nansei-j.kofu-ymn.ed.jp/>

Click!

	平成 29 年度 学校だより 甲府市立南西中学校 銀 杏 (いちよう) 第 6 号 平成 29 年 6 月 20 日 (火) 発行 学校教育目標 「たくましい心と体とちから 学び合える生徒の育成」 文責：校長 清水 芳久
-------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

生徒と向き合う時間の確保に取り組んでいます

今年3月、山梨県教育委員会から「教員が、子供一人ひとりと向き合う時間を確保することにより、その責務を果たし、山梨県の教育の質を高める」を目的に、教員の多忙化改善に向けた取組方針が策定され、今後4年間の実施スケジュールが決まりました。

また、今月1日には、甲府市教育委員会でも甲府市教員の多忙化改善対策検討委員会が設置されるなど、多忙化改善対策の組織づくりが始まっています。



《 声かけ・あいさつ運動 》

本校の学校だより「銀杏(いちよう)」は、月2回のペースで発行し、地域にも組回覧しています。家庭や地域と連携・協力をさらに深めていくため、これからも学校行事や生徒の学校生活の様子などの情報発信に努めていきます。

5月は自ら進んで意欲的に学校生活を送りましょう

入学式・始業式から家庭訪問まで、本当に慌ただしかった4月も終わり、今日から5月の学校生活がスタートしました。この1ヶ月間で**学級役員**や各委員会・係別活動なども決まり、それぞれの学年で学級活動も順調に動き始めました。

さて、一昨日29日(土)から**ゴールデン・ウィーク**がスタートしました。部活動の練習や試合、家族旅行など色々予定が入っていると思いますが、



「山梨県教職員文化展」の作品を募集しています

福利給与課

山梨県教職員文化展は、教職員（公立学校共済組合員）の作品の展示を通して創作技術等の向上と教職員相互の親睦・交流を図ることを目的に、今年度で42回目を迎えます。

今年度の開催にあたり、教職員の皆様から作品を募集しています。

日頃の創作活動の成果をこの機会に是非ご発表ください。

作品の応募要領につきましては各所属所へ送付しました通知、又は公立学校共済組合山梨支部のホームページをご覧ください。



● 作品募集について

募集期間 平成29年11月6日(月)まで
募集分門 美術部門・書道部門・写真部門

● 山梨県教職員文化展の開催予定

開催期間 平成30年1月23日(火)午後～28日(日)午前中まで
会場 山梨県立美術館 県民ギャラリーA・B
主催 山梨県教育委員会／公立学校共済組合山梨支部

● お問い合わせ

公立学校共済組合山梨支部 電話 055-223-1745

「未来へ繋げるスポーツの力」講演会

～身近な地域スポーツ促進事業～

スポーツ健康課

オリンピックと市民スポーツの関わりについての理解を深め、スポーツへの参加促進や指導者の指導意欲の向上につなげるため、身近な地域スポーツ促進事業の一環として、下記日程にて、2名の講師を迎え、オリンピック・パラリンピアンによる講演会を開催します。

講師

野澤啓佑選手（南アルプス市出身）



リオデジャネイロ五輪
陸上 400mH 日本代表
ミズノトラッククラブ

逸見佳代氏（笛吹市出身）



トリノ五輪
スキージャンプ日本代表
北海道庁

【期日】平成29年10月22日(日)
【時間】午後1時開始（午後4時終了予定）
【場所】山梨市民会館

【問い合わせ先】

教育庁スポーツ健康課 生涯スポーツ担当
Tel 055-223-1782 Fax 055-223-1786

やまなし総合型クラブフェスタ

スポーツ健康課

～総合型地域スポーツクラブって知ってますか？～



☆スポーツに親しむことができるように、地域住民の皆さんが自ら運営しているスポーツクラブのことで。

☆クラブの皆さんが日頃行っている活動を体験してみてください。

どなたでも大歓迎です！



平成28年度実施

《体験種目》

- ・トランポリン ・ラダーゲッター ・大縄跳び ・ヨガ ・卓球
- ・スポーツチャンバラ ・ラージボール卓球 ・バンブーダンス ・フリーテニス
- ・スピードチャレンジ ・フロアボール

【日 時】平成29年11月3日(金) 午後1時～

【会 場】小瀬スポーツ公園 武道館

【申込み】電話または、小瀬スポーツ公園管理棟窓口にてお申込みください

(代表者氏名・申込人数・在住市町村をお伺いします)

TEL 055-243-8588 (受付時間：平日午前9時から午後5時)

※詳細は追って、山梨県体育協会ホームページで連絡します

第54回山梨県一周駅伝競走大会

～「スポーツ県やまなし」宣言記念 「県民の日」記念～

スポーツ健康課

54回目を迎える「山梨県一周駅伝競走」が初冬の甲斐路でたすきをつなぎます。

今年も1日目に山梨県庁をスタートし富士吉田市役所へ、2日目は同所から山日YBS本社を目指す全20区間、全長167.8kmのコースで行います。昨年は県下各市町村より18チームが出場しました。たくさんの方々に沿道に出迎えていただき、力走するランナーに熱い声援を送っていただきたいと思います。

【期日およびスタート時刻】

平成29年12月2日(土) 1日目：山梨県庁午前9時スタート

12月3日(日) 2日目：富士吉田市役所午前8時スタート

【コース(通過予定時刻)】

1日目：山梨県庁(9:00)→県地場産業センター東(9:10)→ボルドー(9:20)→山梨市役所(9:46)→甲州市日影消防詰所(10:41)→大月東中学校(12:00)→山日YBS都留支局(12:28)→エネオス日山三ツ峠給油所(12:53)→富士吉田市役所(13:09)

2日目：富士吉田市役所(8:00)→富士急本社西(8:11)→富士緑の休暇村(8:46)→県営本栖湖駐車場(9:22)→身延町役場古閑出張所(10:00)→六郷小学校(10:29)→(株)望月(10:50)→南アルプス市立美術館(11:19)→山梨旭ダイヤモンド工業・栄徳(11:46)→山梨交通敷島バス停(12:11)→山日YBS本社ビル(12:30)

※詳細は追って、山梨陸上競技協会のホームページで公表します。